

日本薬学会北陸支部 第127回例会

プログラム

平成27年11月15日

富山大学杉谷キャンパス講義実習棟

参加される方へのご案内

発表される方へ：

- ・講演時間は、学生演題では発表10分―討論5分、一般演題では発表8分―討論2分です。与えられた時間内に終了するようご配慮願います。
- ・事前に発表データを事務局宛 (yukikawa@pha.u-toyama.ac.jp) に電子送信してください。最終受付を11月13日(金)正午とします。(それ以降に修正が必要になった場合は事務局までご相談下さい)。尚、データは例会終了後、事務局が責任を持って破棄します。

データ送信は、以下のようにしてください。

- ✓ データファイル名に演題番号、発表者名、OS名を入れる。例:AS-C1_櫻井_win.pptx
 - ✓ メールタイトルに演題番号と発表者名を入れる。例:発表データ送信(AS-C1櫻井)
 - ✓ メール本文に発表者の電子メールアドレスを記載する。
 - ✓ 送信ファイルのサイズが大きい場合は、「メモリーサイズの大きい添付ファイルを送信するためのシステム」を使ってください。
- ・当日は、念のためデータを保存したUSBメモリーをご持参ください。
 - ・発表用には Windows 7 または Windows 8 を搭載した PC を用意し、PowerPoint (Office2010, Office2013) を使用します。発表の際に PowerPoint 以外のソフトウェアもご使用になる方は、予め事務局までご相談下さい。
 - ・当日、希望する方は発表会場で発表データの最終確認をすることができます。尚、確認は指定された時間帯(下表)に行って頂きます。混雑が予想されますので時間に余裕をもってお越し下さい。

会場\発表時刻	午前	午後
第1会場(203講義室)	7:30～8:15	12:15～12:50
第2会場(202講義室)	7:30～8:15	12:30～13:30
第3会場(303講義室)	9:00～10:00	12:30～13:30

- ・発表開始 10 分前までに、発表会場最前列の「次演者席」にご着席ください。

学生優秀発表賞表彰式(19:00～19:15)：

- ・学生優秀発表賞受賞者は、19:00 から行われる選考結果発表および表彰式に出席している必要があります。不在の場合は受賞が取り消しとなりますのでご注意下さい。

座長の方へ：

- ・担当するセッション開始の15分前までに会場にお越し下さい。
- ・講演時間は、学生演題では発表10分―討論5分、一般演題では発表8分―討論2分です。交代時間を含め上記の時間内で発表が終了するよう進行をお願いします。

全ての参加者へ：

- ・自家用車でお越しの方は、杉谷キャンパス内の「教職員学生用駐車場」をお使い下さい。入構の際はゲートで駐車券をお取り下さい。受付で駐車券をお見せ頂くと、出庫時に駐車料金を無料にする「教職員等駐車区域特別駐車券」をお渡します。「外来患者用駐車場」に駐車されますと、上記特別駐車券を利用しても無料になりませんのでご注意ください。
- ・会場まで自家用車以外ではバスまたはタクシーとなります。バスで会場に来る場合、JR 富山駅南口前のバスターミナル乗り場③から行き先「富山大附属病院循環」に乗車し、「富山大附属病院」で下車します。所要時間は約30分、運賃は450円です。休日朝の発車時刻は7:00、7:50、8:20です。タクシーでは25分程を要し運賃は3,500円程度(小型)です。
- ・昼食はお弁当を持参頂くか、附属病院内のレストランやコーヒーショップあるいは附属病院売店をご利用下さい。発表会場(講義室)内で昼食をとってもかまいませんが、後始末をお願いします。

問合わせ先：

〒930-0194 富山市杉谷 2630

富山大学大学院医学薬学研究部がん細胞生物学研究室

第127回例会事務局 櫻井宏明

電話：076-434-7520

電子メール：hsakurai@pha.u-toyama.ac.jp(問合せ用)

yukikawa@pha.u-toyama.ac.jp(発表データ送付用)

- ・例会当日に不明な点がありましたら、受付にお申し出ください。

第127回例会 プログラム

特別講演1 (日本薬学会北陸支部担当)

「ABC タンパク質サブファミリーD: 基質輸送・局在化メカニズムと先天代謝異常症」
今中常雄 (富山大学教授 大学院医学薬学研究部・分子細胞機能学)
座長: 櫻井宏明 (富山大院薬)
13:30～14:15 於 第1会場(203講義室)

特別講演2 (日本病院薬剤師会北陸ブロック担当)

「病診薬連携とチーム医療～患者情報の共有化」
松原和夫 (京都大学医学部附属病院院長補佐 教授 薬剤部部長)
(日本病院薬剤師会副会長)
座長: 高畑英信 (市立砺波総合病院)
13:00～14:30 於 大講義室

奨励賞受賞講演

「骨指向性薬物の創製と骨・関節疾患治療への応用」
高橋達雄 (北陸大学准教授 医療薬学講座・薬理学分野)
座長: 門脇 真 (富山大和漢研)
14:15～14:45 於 第1会場(203講義室)

第1会場(203講義室)

部門A 学生演題(学生優秀発表賞選考対象)

セッション1 座長:久保義行(富山大院薬)

AS-C1 (8:30~8:45)

副腎白質ジストロフィーの治療薬開発:ミスセンス変異 ABCD1 タンパク質を安定化する低分子化合物の探索

○佐藤愛里¹、井上健吾²、守田雅志¹、今中常雄¹ (¹富山大院薬、²富山大薬)

AS-C2 (8:45~9:00)

虚血性神経細胞障害におけるアミノ酸トランスポーターSlc38a1 の役割

○中村早希¹、宝田剛志¹、國保博史¹、金田勝幸¹、米田幸雄² (¹金沢大院医薬保、²金沢大学ベンチャービジネスラボ)

AS-C3 (9:00~9:15)

オーファンイオンポンプ ATP13A の局在と機能

○斎藤祐輝、藤井拓人、清水貴浩、酒井秀紀 (富山大院薬)

AS-C4 (9:15~9:30)

FDA 承認薬ライブラリを用いたプロスタグランジントランスポーターOATP2A1 の阻害剤探索

○加茂駿介、中西猛夫、青谷梨加、御勢智香、玉井郁巳 (金沢大院医薬保)

セッション2 座長:安東嗣修(富山大院薬)

AS-C5 (9:30~9:45)

ピレン修飾脂肪酸を基質としたペルオキシソーム脂肪酸 β 酸化測定法の開発:副腎白質ジストロフィー治療候補化合物の探索

○岡崎愛理¹、富田海斗²、守田雅志¹、渡辺志朗³、下澤伸行⁴、今中常雄¹ (¹富山大院薬、²富山大薬、³富山大和漢研、⁴岐阜大生命科学セ)

AS-C6 (9:45~10:00)

β -クリプトキサンチン摂取による骨粗鬆症の予防および治療効果の検討

○大西勇氣¹、岡本舞香¹、尾崎翔¹、深澤和也¹、米田幸雄¹、金田勝幸¹、杉浦実²、檜井栄一¹ (¹金沢大院医薬保、²農研機構果樹研)

AS-C7 (10:00~10:15)

オレキシン系を標的とした生体リズム制御による2型糖尿病マウスの糖代謝改善効果

○今 寛太、恒枝宏史、東海絵美、永田貴嗣、和田 努、笹岡利安 (富山大院薬)

AS-C8 (10:15～10:30)

スタチン誘発性骨格筋毒性バイオマーカーとしての microRNA の探索

○齊藤 駿、白崎佑磨、中島美紀、中西猛夫、玉井郁巳（金沢大院医薬保）

AS-C9 (10:30～10:45)

細胞外 vimentin による軸索伸展作用メカニズムの解明

○執行美智子¹、久保山友晴²、梅寄雅人²、沢井裕佑²、東田千尋²（¹富山大院薬、²富山大和漢研）

セッション3 座長:廣瀬 豊(富山大院薬)

AS-C10 (11:00～11:15)

EGFR 阻害薬耐性肺がんにおける FGFR-EphA2 経路による細胞運動能制御

○笹岡俊一郎、山田直樹、渡邊 啓、周 越、櫻井宏明（富山大院薬）

AS-C11 (11:15～11:30)

腸管神経に発現する TLR4 の役割について

○緒方華子、山本 武、門脇 真（富山大和漢研）

AS-C12 (11:30～11:45)

個体成長における食食受容体の役割

○松田拓己、中西義信、永長一茂（金沢大院医薬保）

AS-C13 (11:45～12:00)

軟骨細胞機能における転写制御因子 ATF3 の役割

○尾崎 翔¹、家崎高志¹、米田幸雄¹、金田勝幸¹、北島繁孝²、檜井栄一¹（¹金沢大院医薬保、²東京医歯大難治疾患研）

AS-C14 (12:00～12:15)

補体抵抗性バキュロウイルスの作製とその評価

○川井悠輔、田村隆彦、吉田栄人（金沢大院医薬保）

セッション4 座長:恒枝宏史(富山大院薬)

AS-C15 (15:00～15:15)

ダイオキシン受容体の活性化は制御性 T 細胞の誘導を介して食物アレルギーの発症を抑制する

○小森宏次、山本 武、門脇 真（富山大和漢研）

AS-C16 (15:15～15:30)

抑肝散は神経障害性疼痛マウスの機械的アロディニアを脊髄におけるインターロイキン6発現制御を介して改善する

○海老澤 茂¹、安東嗣修²、嶋田 豊¹ (¹富山大院医、²富山大院薬)

AS-C17 (15:30～15:45)

喫煙中止、喫煙の開始年齢ならびにニコチン依存に及ぼす脳由来神経栄養因子(G196A)多型の影響

○藤田 隆、大本まさのり、高良いつみ、高橋達雄、古林伸二郎、光本泰秀 (北陸大薬)

AS-C18 (15:45～16:00)

新規鎮痛薬の開発を目指した PAC1 受容体アンタゴニストの創出と薬理的評価

○渡辺 藍¹、岡田卓哉¹、福地 守²、合田浩明³、栗原 崇⁴、宮田篤郎⁴、豊岡尚樹¹、高崎一朗¹ (¹富山大院工、²富山大院薬、³昭和大院薬、⁴鹿大院医)

AS-C19 (16:00～16:15)

抗がん薬 oxaliplatin 投与による血流低下状態のマウスにおいて急激な局所血流増加はしびれ様異常感覚を誘発する

○酒井晶帆¹、安東嗣修¹、佐々木 淳¹、歌 大介¹、倉石 泰² (¹富山大院薬、²東京医歯大)

セッション5 座長:高崎一朗(富山大院工)

AS-C20 (16:15～16:30)

生薬からのヒスチジン脱炭酸酵素阻害物質の探索研究

○荻原孝史¹、上出真由¹、須永百合枝¹、数馬恒平²、紺野勝弘²、友原啓介¹、加藤 敦¹、足立伊佐雄¹ (¹富山大病院薬、²富山大和漢研)

AS-C21 (16:30～16:45)

マウスにおける抗がん薬 paclitaxel 誘発末梢神経障害性疼痛への車前子エキスとその活性成分の効果

○加藤 充¹、安東嗣修¹、北村 亮¹、當銘一文²、小松かつ子²、倉石 泰³ (¹富山大院薬、²富山大和漢研、³東京医歯大)

AS-C22 (16:45～17:00)

ハマダラカの唾液成分を用いた診断薬開発の基礎的研究

○横川 大¹、小川数馬²、伊従光洋¹、藤吉里紗¹、吉田栄人¹、小谷明¹ (¹金沢大院医薬保、²金沢大新学術)

AS-C23 (17:00～17:15)

マウスにおける抗がん薬 paclitaxel 誘発末梢神経障害性疼痛への芍薬甘草湯とその活性成分の効果

○小林奈央¹、安東嗣修¹、北村 亮¹、李 峰²、倉石 泰³ (¹富山大院薬、²富山大和漢研、³東京医歯大)

セッション6 座長:守田雅志(富山大院薬)

AS-C24 (17:30~17:45)

急性ストレス負荷によるコカイン誘導性場所嗜好性増強の神経メカニズム

○上居寛典^{1,2}、篠原史弥²、田岡直史²、南 雅文²、金田勝幸¹ (¹金沢大院医薬保、²北大院薬)

AS-C25 (17:45~18:00)

アポトーシスイメージングを目的とした放射標識ペプチドの開発

○杉野世樹¹、小川数馬²、栗生木美穂¹、黄檜達人¹、小谷明¹ (¹金沢大院医薬保、²金沢大新学術)

AS-C26 (18:00~18:15)

脳関門を介した脳からの spermine 消失機構の解明

○島田浩和¹、赤沼伸乙^{1,2}、久保義行^{1,2}、細谷健一^{1,2} (¹富山大薬、²富山大院薬)

AS-C27 (18:15~18:30)

ナトリウムポンプと容積感受性アニオンチャネルによる癌細胞増殖抑制機構

○山本翔太¹、藤井拓人¹、清水貴浩¹、田渕圭章²、竹島浩³、酒井秀紀¹ (¹富山大院薬、²富山大生命科学研セ、³京都大院薬)

AS-C28 (18:30~18:45)

網膜への riboflavin 供給に対する血液網膜関門輸送機構の関与

○八幡静香¹、赤沼伸乙^{1,2}、久保義行^{1,2}、細谷健一^{1,2} (¹富山大薬、²富山大院薬)

第2会場(202講義室)

部門A 学生演題

セッション1 座長:藤田恭輔(富山大和漢研)

AS-1 (8:30~8:45)

シスプラチン誘発アロディニアの軽減を目指したプレガバリンの併用投薬

○高瀬美幸¹、瀬戸祥弘²、辻 泰弘²、藤 秀人² (¹富山大薬、²富山大院薬)

AS-2 (8:45~9:00)

ERK を介した ErbB2/ErbB3 ヘテロダイマーのフィードバック阻害機構の解明

○都丸里佳¹、河崎優希¹、崎村綾香¹、朴 哲珉¹、小澤龍彦²、成田香織¹、周 越¹、岸裕幸²、村口篤²、櫻井宏明¹ (¹富山大院薬、²富山大院医)

AS-3 (9:00~9:15)

抗リウマチ薬メトトレキサートの治療成績の向上を目指した葉酸の至適併用タイミングの検討

○田中安紀¹、五反田圭介²、家入一郎²、藤 秀人³ (¹富山大薬、²九大院薬、³富山大院薬)

AS-4 (9:15~9:30)

肝癌細胞のグルコース輸送機能の強心配糖体による抑制

○井口真由美¹、藤井拓人²、清水貴浩²、酒井秀紀² (¹富山大薬、²富山大院薬)

AS-5 (9:30~9:45)

Verapamil 網膜閉門透過に対する lysosomal trapping の寄与

○中沢亜弓¹、赤沼伸乙^{1,2}、久保義行^{1,2}、細谷健一^{1,2} (¹富山大薬、²富山大院薬)

セッション2 座長:藤井拓人(富山大院薬)

AS-6 (9:45~10:00)

個別化治療を目的とした後発医薬品テイコプラニンの母集団薬物動態解析

○太田幸雄¹、辻泰弘²、笠井英史^{2,3}、平木洋一⁴、山田尚広⁵、松永典子⁶、大石博史⁴、矢口武廣⁴、北原隆志⁶、内藤隆文⁵、藤秀人² (¹富山大薬、²富山大院薬、³サターラ、⁴別医セ薬、⁵浜医大病院薬、⁶長大病院薬)

AS-7 (10:00~10:15)

血液網膜閉門における nicotine 輸送機構の解明

○譲原千広¹、手賀悠真²、赤沼伸乙^{1,2}、久保義行^{1,2}、細谷健一^{1,2} (¹富山大薬、²富山大院薬)

AS-8 (10:15~10:30)

基本転写因子 TFIIIE による転写開始から伸長への移行の制御機構解析

○中村考秀¹、田中亜紀¹、秋元勇亮¹、郭 丹恵¹、大熊芳明^{1,2} (¹富山大院薬、²長崎大院医歯薬)

AS-9 (10:30~10:45)

SRF コアクチベーターMKL2 の新規アイソフォーム SOLOIST の発現と機能解析

○田中拓郎¹、石橋悠太¹、庄司しずく¹、久保友喜美¹、袴田知之¹、阪上洋行²、福地 守¹、津田正明¹、田渕明子¹ (¹富山大院薬、²北里大医)

セッション3 座長:田中亜紀(富山大院薬)

AS-10 (11:00~11:15)

神経ペプチド PACAP 誘導性 CRE 依存的転写活性化におけるアンカータンパク質 AKAP150 の役割

○渡邊 漢、福地 守、市村美奈、越智雄基、田渕明子、津田正明 (富山大院薬)

AS-11 (11:15~11:30)

新規トリパノソーマ感染症治療薬の開発を目的としたグリコソーム形成阻害化合物の探索

渡邊雄一¹、○斉藤崇謙²、川口甲介¹、守田雅志¹、岡部隆義³、今中常雄¹ (¹富山大院薬、²富山大薬、³東大創薬機構)

AS-12 (11:30~11:45)

小胞コートタンパク質に着目した胃細管小胞の多様性解析

○桧物拓也¹、藤井拓人²、古西孝行¹、清水貴浩²、酒井秀紀² (¹富山大薬、²富山大院薬)

AS-13 (11:45~12:00)

異なる翻訳開始点から合成される BDNF タンパクの相違

○雑賀美友紀、福地 守、田渕明子、津田正明 (富山大院薬)

AS-14 (12:00~12:15)

ビタミン B₁₂ の細胞内輸送に関わるリソソーム膜タンパク質 LMBD1: その局在化機構と ABC タンパク質 ABCD4 との相互作用

○大岡麻友美¹、岡元拓海²、川口甲介²、守田雅志²、今中常雄² (¹富山大薬、²富山大院薬)

セッション4 座長:福地 守(富山大院薬)

AS-15 (15:00~15:15)

最近同定された2種類のヌクレオチド除去修復阻害物質の比較検討

○福島直紀、上田将信、高森千枝、大澤琢郎、若杉光生、松永 司 (金沢大薬)

AS-16 (15:15～15:30)

リン酸化 CTD 結合因子 PCIF1 による遺伝子発現調節機構

○杉田 愛¹、柳澤奈月¹、和仁翔太郎²、田淵圭章³、大熊芳明⁴、廣瀬 豊² (¹富山大薬、²富山大院薬、³富山大遺伝子実験施設、⁴長崎大院医)

AS-17 (15:30～15:45)

Abcd1 欠損マウス由来不死化アストロサイト株の作製とその生化学的解析

○堀内由貴¹、土井田 愛¹、守田雅志²、今中常雄² (¹富山大薬、²富山大院薬)

AS-18 (15:45～16:00)

ヒト腎上皮 HEK293 細胞におけるキニジンの輸送機構

○近藤栄里、大久保翔悟、松葉映美、深尾美紀、石田和也、橋本征也 (富山大院薬)

AS-19 (16:00～16:15)

ペルオキシソームABCタンパク質 ABCD1 がもつ acyl-CoA チオエステラーゼ活性と極長鎖脂肪酸 CoA 輸送との関連性

○木村このみ¹、川口甲介²、Rina Agustina²、守田雅志²、今中常雄² (¹富山大薬、²富山大院薬)

セッション5 座長:川口甲介(富山大院薬)

AS-20 (16:15～16:30)

ヌクレオチド除去修復因子 ERCC1 を分解誘導する新規化合物の抗がん剤作用増強効果

○中家裕美子¹、和田奈巳¹、西村陽平¹、若杉光生¹、猪部 学¹、遠藤良夫²、松永 司¹ (¹金沢大薬、²金沢大がん研)

AS-21 (16:30～16:45)

哺乳動物 Mediator 複合体キナーゼモジュールの機能解析

○藤田智陽¹、安倍光姫¹、菊地祐子²、林 裕人²、森 寿³、田中亜紀²、廣瀬 豊²、大熊芳明⁴ (¹富山大薬、²富山大院薬、³富山大院医、⁴長崎大院医)

AS-22 (16:45～17:00)

グラム陰性細菌由来 LPS による CD4⁺T 細胞増殖及び Th1 分化の促進

○戸田翔子、松永司、猪部学 (金沢大薬)

AS-23 (17:00～17:15)

選択的 Mineralocorticoid Receptor (MR) 阻害剤エプレレノンによる糖代謝改善機構の解明

○渡邊愛理、和田 努、中村勇斗、石川明香里、恒枝宏史、笹岡利安 (富山大院薬)

セッション6 座長:山本 武(富山大和漢研)

AS-24 (17:30～17:45)

抗菌剤による黄色ブドウ球菌の被貪食能の促進

○小宮山千晴、中西義信、白土明子 (金沢大院医薬保)

AS-25 (17:45～18:00)

制御性 T 細胞の性特異的な脂肪組織局在が肥満に伴う慢性炎症と糖代謝に及ぼす影響

○伊藤哲生¹、和田努¹、櫻村彩香¹、王生美沙¹、恒枝宏史¹、鮫島梓²、斎藤滋²、笹岡利安¹
(¹富山大院薬、²富山大院医)

部門A 一般演題

セッション1 座長:山本 武(富山大和漢研)

AG-1 (18:00～18:10)

TSOD マウスの肝炎に対するヒオデオキシコール酸の効果

○藤田恭輔¹、常山幸一²、渡辺志朗¹ (¹富山大和漢研、²徳島大院医歯薬)

AG-2 (18:10～18:20)

錠剤の材料力学的性質と残留応力分布の関連性

○林祥弘、大貫義則 (富山大院薬)

第3会場(303講義室)

部門B 学生演題(学生優秀発表賞選考対象)

セッション1 座長:友廣岳則(富山大院薬)

BS-C1 (10:15~10:30)

静電相互作用によるナノディスクの水中での会合・解離の制御

○坂下奈名、池田恵介、中野 実 (富山大院薬)

BS-C2 (10:30~10:45)

Protein Data Bank に収載されているエストロゲン受容体立体構造についてのバイオインフォマティクスの検討

○藤井賢一朗¹、福吉修一¹、山乙教之²、広野修一²、小田彰史^{1,3} (¹金沢大院医薬保、²北里大薬、³阪大蛋白研)

BS-C3 (10:45~11:00)

クロレラの放射性核種体外排泄に対する有用性の検討

○福田忠久¹、小川数馬²、Jaegab Han³、黄檜達人¹、小谷 明¹ (¹金沢大薬、²金沢大新学術、³DAESANG Corporation)

BS-C4 (11:00~11:15)

ネイティブケミカルライゲーシオンペプチドによって構成されるリン脂質ナノディスクの開発

○近藤弘章、池田恵介、中野実 (富山大院薬)

セッション2 座長:池田恵介(富山大院薬)

BS-C5 (11:15~11:30)

タンパク質中グルタミン酸の分子内環化反応についての量子化学計算

○仲吉朝希¹、福吉修一²、高橋央宜³、小田彰史^{2,4} (¹金沢大医薬保、²金沢大院医薬保、³東北薬大薬、⁴阪大蛋白研)

BS-C6 (11:30~11:45)

薬物タンパク結合を検出する蛍光標識化アルブミンの開発

○巻口真穂¹、木野徹平¹、山田耕平¹、浅野智哉²、国嶋崇隆¹ (¹金沢大院医薬保、²金沢大ゲノム)

BS-C7 (11:45~12:00)

磁性鉄ナノ粒子担持ヨードアレーン触媒の開発とフェノール類の酸化

○下川育実、南部寿則、藤原朋也、矢倉隆之 (富山大院薬)

セッション3 座長：藤原朋也(富山大院薬)

BS-C8 (15:00～15:15)

光切断特性を有する光クロスリンカーの開発と標的タンパク質蛍光ラベル化への応用

○堀田侑佑、山本章人、千葉順哉、畑中保丸、友廣岳則 (富山大院薬)

BS-C9 (15:15～15:30)

ジチオール類の還元作用による生体内タンパク質 S-S 結合切断法の開発

稲垣冬彦, ○丸山直哉, 向 智里 (金沢大院医薬保)

BS-C10 (15:30～15:45)

DNAを親水性基としたホスト・ゲスト錯形成型の新規両親媒性分子の開発

○磯野佑介、千葉順哉、畑中保丸、友廣岳則 (富山大院薬)

BS-C11 (15:45～16:00)

ハロゲン含有芳香環スタッキングを有する白金錯体の合成と性質

○柏原由紀子¹、黄檜達人¹、小川数馬²、小谷 明¹ (¹金沢大院医薬保、²金沢大新学術)

セッション4 座長：阿部 肇(富山大院薬)

BS-C12 (16:00～16:15)

2-ヨードベンズアミド酸化触媒とオキソンをを用いる環境調和型酸化的開裂反応の開発

○堀内悠友、山田明広、西村優志、南部寿則、藤原朋也、矢倉隆之 (富山大院薬)

BS-C13 (16:15～16:30)

シスプラチン、オキサリプラチン含有多核白金(II)錯体の性質と生理活性

○山田喜美子¹、坂口綾¹、黄檜達人¹、小川数馬²、小谷明¹ (¹金沢大院医薬保、²金沢大新学術)

BS-C14 (16:30～16:45)

アミンを用いる位置選択的シクロプロパン開裂反応を鍵工程とする多置換インドール類の効率的合成法の開発

○廣田 渉、福本昌紘、小野直樹、藤原朋也、南部寿則、矢倉隆之 (富山大院薬)

BS-C15 (16:45～17:00)

Roseophilin の全合成研究

○岩田隆、向智里(金沢大院医薬保)

部門B 学生演題

セッション1 座長:南部寿則(富山大院薬)

BS-1 (17:15~17:30)

毒ガエルアルカロイド *cis* 211A の全合成研究

○岡田卓哉¹、豊岡尚樹^{1,2} (¹富山大院工、²富山大院命融合)

BS-2 (17:30~17:45)

Cu(I)触媒を用いた Conia-ene 反応

○鈴木康祐、内山正彦 (金沢大院医薬保)

部門B 一般演題

セッション1 座長:南部寿則(富山大院薬)

BG-1 (17:45~17:55)

ピリジン-フェノール環状ホスト分子の設計開発と糖認識機能

○阿部肇、米田哲大、井上将彦 (富山大院薬)

BG-2 (17:55~18:05)

金触媒による分子内ヒドロアミノ化と細見-櫻井反応を用いたワンポットキノリジジン骨格構築法の開発

○杉本健士、水野翔太、田邊康介、松谷裕二 (富山大院薬)